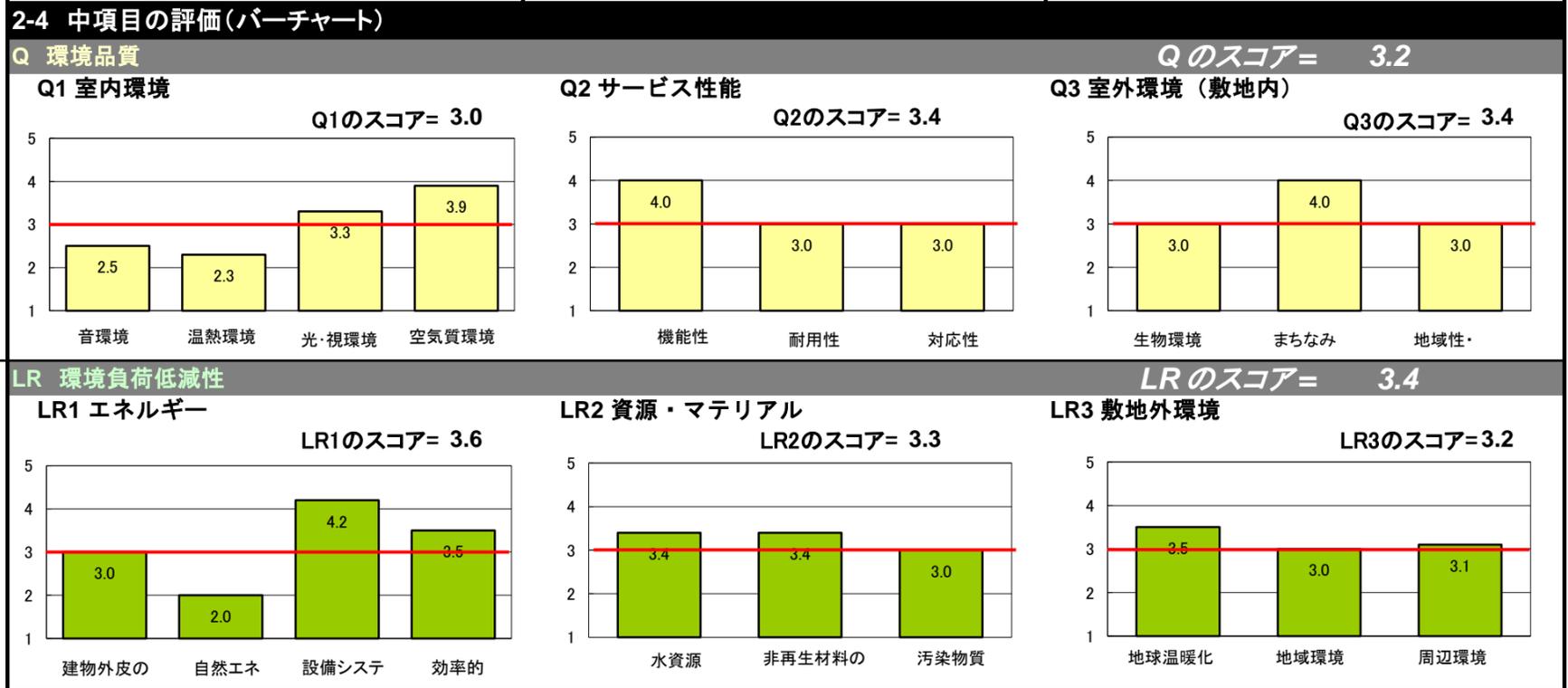
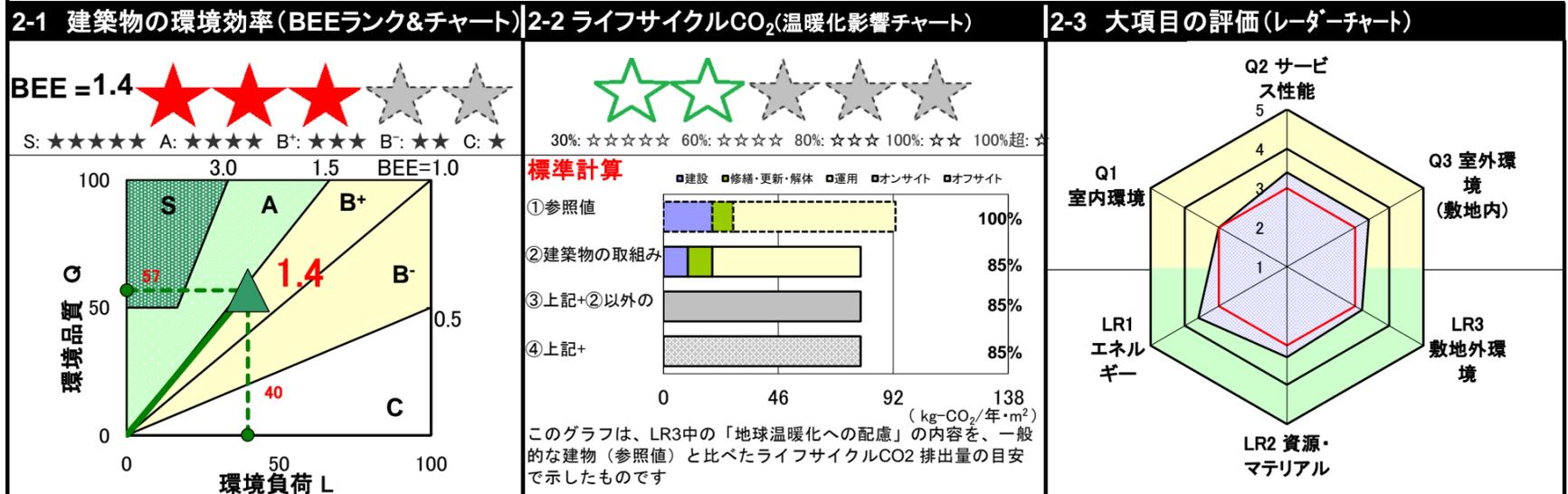


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八丁堀3丁目計画 新築工事	階数	地上12F
建設地	東京都中央区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	124 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月 予定	評価の実施日	2023年6月30日
敷地面積	493 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社イズミシステム設計
建築面積	393 m <sup>2</sup>	確認日	2023年6月30日
延床面積	3,704 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社エル設計事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都中央区八丁堀に建設される集合住宅である。</li> <li>リサイクル材や節水器具の採用により環境負荷の低減に配慮している。</li> </ul>		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>開口部を大きくとり、自然換気性能や昼光利用に配慮している。</li> <li>全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、十分な換気量を確保する等、室内空気質環境を良好に保つ配慮をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各住戸に1Gbitクラスのブロードバンドを整備し、機能性に配慮している。</li> <li>配管材や内装材等に耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。</li> </ul>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明等の高効率な設備機器を導入している。</li> <li>電力消費量の表示機能のある装置を導入し、モニタリングを可能とすることで、エネルギーの効率的な運用に配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。</li> <li>高強度の材料やリサイクル材等を使用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的に発生するゴミの種類や量の推計や分別回収を推進するための空間整備や設備等、ゴミ処理負荷低減対策を行っている。</li> <li>深夜の減灯等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される